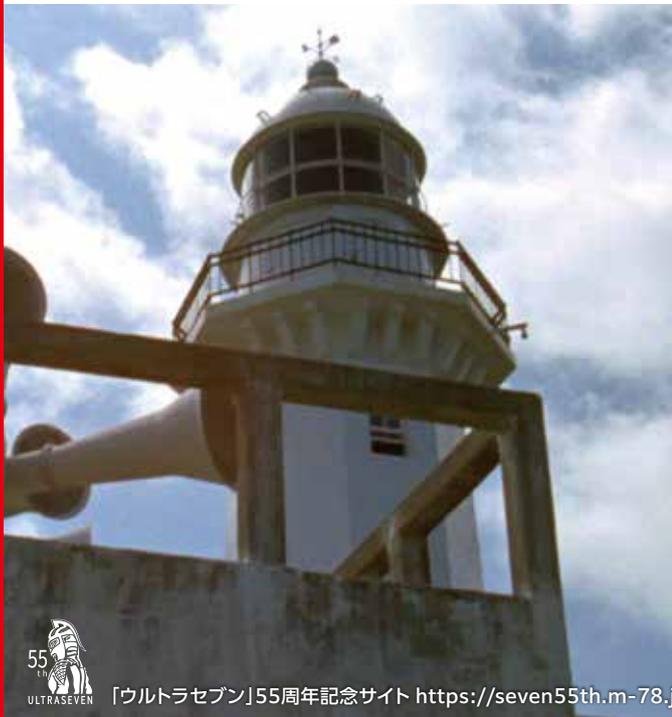


# ウルトラ建設探訪記

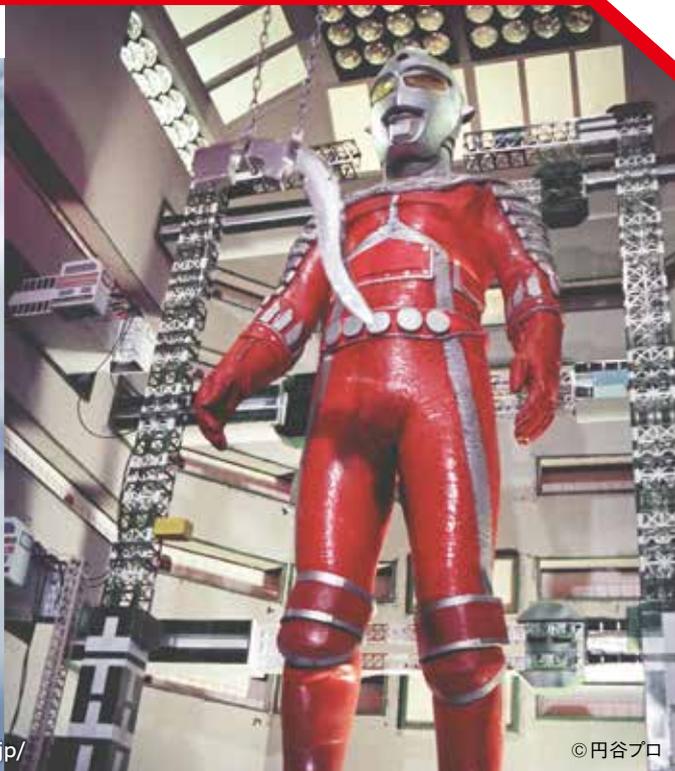
vol.06

『ウルトラセブン』に見る高度成長期の建造物

『ウルトラセブン』第46話「ダン対セブンの決闘」



『ウルトラセブン』55周年記念サイト <https://seven55th.m-78.jp/>



©円谷プロ

あの時の**未来**

明治から150年、浦賀の海を見守る

江戸時代末期の1866～1867年、幕府と欧米列強との条約で全国10カ所の灯台整備が決まった。これらは「条約灯台」とも呼ばれ、その後明治政府が建設を進めた。なかでも最も早く1869年に完成したのが三浦半島の「観音埼灯台」。これが日本最初の洋式灯台となった。設計したのはフランス人技師のレオンス・ヴェルニーらで、当初はレンガ造だった（右写真）。1922年の地震で被害を受けていったん解体し、コンクリート造で再建したが、そのわずか半年後に関東大震災が発生して再び倒壊。現在見られるのは、1925年に建てられた3代目の灯台である。



提供：横須賀海上保安部交通課

## セブンの見た街、共生の未来

『ウルトラセブン』第46話「ダン対セブンの決闘」では、すぐれた科学力を持つサロメ星人が灯台下の海底工場でウルトラセブンそっくりの強力なロボット「ニセ・ウルトラセブン」を建造し、その力で地球を征服しようとする。セブンは自分と五角以上のパワーを持つとされるロボットを苦闘の末に倒し、サロメ星人も撃破した。最後まで自分たちの科学力を信じたサロメ星人に対し、本物のセブンの勝利を自分たちの仲間の勝利として喜ぶウルトラ警備隊のセブンへの信頼、「共生」の関係のあり方が対比的に描かれる。

ロケ地の現在の姿や作品に映る建造物を追いかける巡礼散歩へGO!!  
55年前の「未来」、そしてその「現在」を動画で紹介します。



動画のナビゲーターは  
モロボシ・ダン役の森次晃嗣さん。  
二次元コードからぜひご覧ください。



<https://www.youtube.com/@user-qj6md4nz9e>